

こんにちは、東京京橋カウンセリングオフィスです。

『こころとからだの健康』をテーマとして、日々の暮らしに役立つような情報を発信していきたいと思っています。第 55 回では、いつもとは少し内容を変更し、「心理士の働き方」についてご紹介します。

心理士には主に、医療・保健、教育、福祉、司法、産業の 5 領域の仕事があります。具体的な職場として、医療・保健であれば精神科や心療内科、教育であれば学校のスクールカウンセラー、福祉であれば児童養護施設や児童発達支援事業所、司法では家庭裁判所、産業領域では一般企業などがあげられます。当カウンセリングオフィスを運営している株式会社 SRD スタッフは、主に治験の領域で業務に従事しており、上記の中では医療・保健の領域に近い仕事になります。

治験とは、薬の候補となる薬剤の効果や安全性を確認する臨床試験のことです。その中でも、特に認知症領域や精神科領域において、心理評価を行っています。心理評価が、治験薬の大事なエンドポイント（治験薬の有効性や安全性をはかるための評価項目）となっていることも少なくないため、やりがいのある仕事です。

弊社では多くの社員が正社員として働いています。心理士は非常勤やパート・アルバイトでの募集も多く、この点も珍しいのではないかと思います。

現在、正社員を募集しておりますので、心理士として治験に関心があるという方は、一度弊社の HP をご確認ください（<https://staff-srd.co.jp/staff/>）。

正社員のみならず、他の業務と掛け持ちをしながら、非常勤で働いている心理士もおります。お気軽にお問い合わせください。